

パナホーム株式会社 本社工場

パナソニックグループサイトレポート2011
2010年度:2010年4月1日～2011年3月31日

| | | | |
|--------------|--|---------------|-------------------------|
| 所在地: | 滋賀県東近江市下岸本町10番地 | | |
| 敷地面積: | 340231m ² | 延床面積: | 176509.55m ² |
| 設立: | 1969年10月 | 従業員数: | 400名 |
| ISO14001取得: | 2000年10月 | ISO14001最新更新: | 2010年3月 |
| 主要製品: | 戸建住宅(カサート、エルソラーナ等) 集合住宅(エルメゾン・フィカーサ等) | | |
| 環境コミュニケーション: | 10年度 | | |
| 情報開示: | 1件 | 工場見学: | 3162名 |
| | | 地域貢献活動: | 16件 |
| 問合せ: | 技術グループ 環境管理 | | TEL: 0749-45-1551 |



ごあいさつ

本社工場は琵琶湖のある滋賀県の東部に位置し、約10万坪の敷地には製造・物流・商品開発・技術研究・人材開発の機能を有します。「安全・安心」「健康・快適」「創エネ・省エネ」をコンセプトに「家まるごと」で一步先のエコを追求する人と地球にやさしい環境革新住宅の提供すること、また事業活動に伴うCO2排出量の削減や循環資源への貢献、生物多様性など地球環境に配慮した事業活動を展開することに全従業員一丸となって取り組んでいます。

これまでの地区全体における地道な環境改善活動が認められ、2006年度には「エネルギー管理優良工場」における「経済産業大臣賞」を住宅業界で初めて受賞しました。今後も引き続き地道な活動を推進し、グリーンファクトリー継続とエコアイデア工場の展開を進めてまいります。



環境責任者
工場長 野間 哲也

2010年度の環境重点テーマの取組み

| 目標 | 成果 |
|--------------------------------------|---|
| 省エネルギー(地球温暖化効果ガス) 【CO2排出量】 4,290t | 4,281t 9t削減 (目標達成率100%) 省エネ率 5.2% |
| 廃棄物+有価物発生量削減 【総排出量】 3,512t | 3,291t 221t削減 (目標達成率107%) 産廃削減率 5.5% |
| 重点削減対象化学物質削減 【排出移動量】 8.1t | 7.5t 0.6t削減 (目標達成率107%) |

製品・環境配慮ポイントの紹介



パナホームは先進の環境性能と自然の恵みを生かし、優れた技術力や設計力を結集した“エコアイデアの家”を追求しています。

工業化住宅業界で初めて150ミリピッチでプランニングできる新構法を開発し、戸建住宅「カサート」と賃貸住宅「エルメゾン フィカーサ」を発売しました。断熱効果を高めた新開発の「ダブルウォール」で冬暖かく、夏涼しい住み心地を実現。

これらは、パナソニックグループで推進する「グリーンプロダクツ(GP)」として認定されています。

また、カサートは、ソーラー発電とエネファームのW発電により、さらに環境と家計に配慮した暮らしを実現できます。

製品の環境配慮ポイント

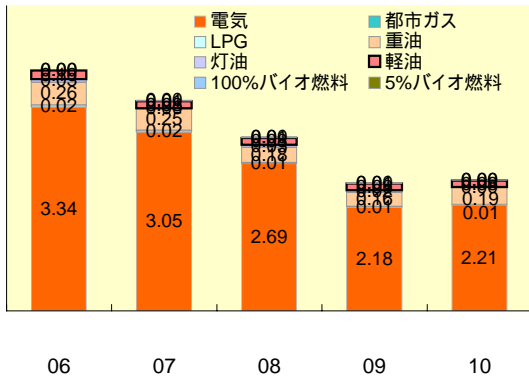
パナソニックグループでは、製品が環境に与える影響を企画・設計段階から事前評価する「製品環境アセスメント」をもとに、「環境性能を向上させた製品・サービス」を「GP: グリーンプロダクツ」と認定しています。パナホームも、2008年度より環境性能が向上する住宅を継続的に開発することを目的に「パナホームGP判定基準」を設定し、運用を開始しています。パナホームの判定基準には、住宅の環境性能や省エネ達成率を評価する“CASBEE すまい[戸建]”(建築物総合環境性能評価システム)等の公的基準等を活用しています。

製品情報ヘリンク

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010:20010年4月1日～2011年3月31日

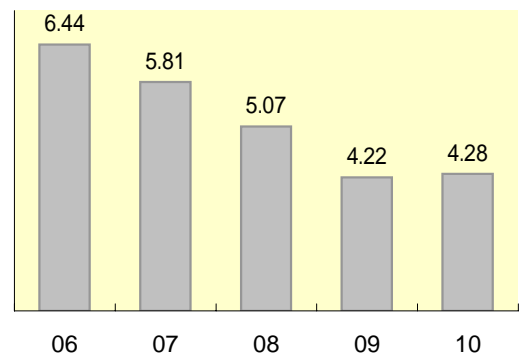
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



自然エネルギー使用量 10年度 (年度)

0.00 千kW/h

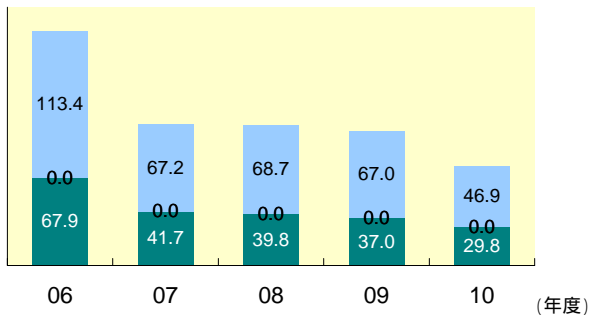
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量

単位:千m³

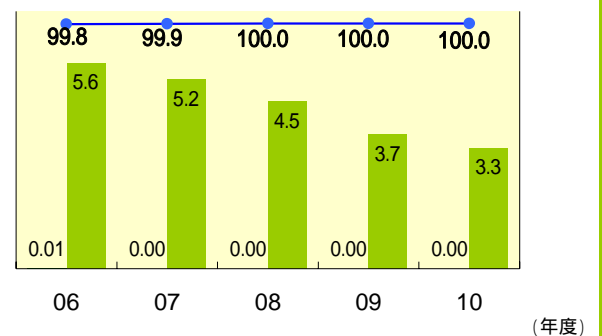
■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t, %

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率



循環的使用量 10年度

0.00 m³

雨水使用量 10年度

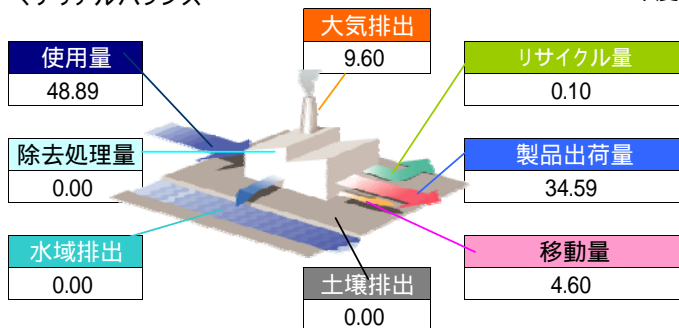
0.00 m³

化学物質

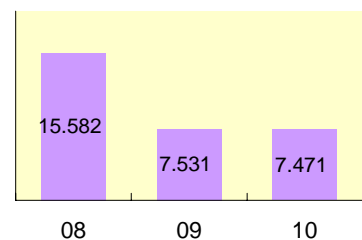
単位:t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項
特記事項はありません

パナソニックグループの工場化学物質管理について
http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

| | 単位 | 施設名 | 法令規制値 | 自主規制値 | 実績平均値 | 実績最大値 | 計測頻度 |
|------|--------------------|------------|--------|--------|-------|-------|------|
| SOx | Nm ³ /h | 第1工場暖房機 10 | 3.00 | 3.00 | 0.01 | 0.01 | 1回/年 |
| | | 第1工場暖房機 13 | 1.40 | 1.40 | 0.01 | 0.01 | 1回/年 |
| | | TOPS暖房機 3 | 6.50 | 6.50 | 0.02 | 0.02 | 1回/年 |
| NOx | ppm | 第1工場暖房機 10 | 180.00 | 160.00 | 50.00 | 50.00 | 1回/年 |
| | | 第1工場暖房機 13 | 180.00 | 160.00 | 64.00 | 64.00 | 1回/年 |
| | | TOPS暖房機 3 | 180.00 | 160.00 | 78.00 | 78.00 | 1回/年 |
| ばいじん | g/Nm ³ | 第1工場暖房機 10 | 0.30 | 0.27 | 0.01 | 0.01 | 1回/年 |
| | | 第1工場暖房機 13 | 0.30 | 0.27 | 0.01 | 0.01 | 1回/年 |
| | | TOPS暖房機 3 | 0.30 | 0.27 | 0.01 | 0.00 | 1回/年 |

<水質汚濁物質計測状況>

| | 単位 | 施設名 | 法令規制値 | 自主規制値 | 実績平均値 | 実績最大値 | 計測頻度 |
|-----|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| COD | mg/l | 貯留池 | 30.00 | 20.00 | 4.92 | 10.10 | 12回/年 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| BOD | mg/l | 貯留池 | 30.00 | 20.00 | 5.00 | 5.00 | 12回/年 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 窒素 | mg/l | 貯留池 | 12.00 | 10.00 | 6.68 | 17.00 | 12回/年 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| リン | mg/l | 貯留池 | 1.20 | 1.20 | 0.08 | 0.18 | 12回/年 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

<騒音・振動>

| | 単位 | 計測場所 | 法令規制値 | 自主規制値 | 実績平均値 | 実績最大値 | 計測頻度 |
|----|----|----------|-------|-------|-------|-------|------|
| 騒音 | dB | 昼 敷地境界線上 | 70.00 | 70.00 | 54.20 | 68.00 | 2回/年 |
| | | 夜 敷地境界線上 | 60.00 | 55.00 | 40.60 | 45.00 | 2回/年 |
| 振動 | dB | 昼 敷地境界線上 | 70.00 | 65.00 | 44.00 | 44.00 | 2回/年 |
| | | 夜 敷地境界線上 | 65.00 | 60.00 | 44.00 | 44.00 | 2回/年 |

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はありません

指導、指摘事項に対する改善状況

| 指導、指摘事項 | 改善対策 |
|---------|------|
| | |
| | |
| | |

環境方針

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome



パナホームグループ 環境方針

パナホームは、お客様のくらしの夢にお応えし、生涯のご満足をお届けするとともに、大切な資産として受け継がれていく住まいをご提供することにより、住生活産業No.1の「環境革新企業」を目指します。

そのために、

- エコアイディアの家(「環境の価値」「資産の価値」「くらしの価値」に優れた住まい)をご提供します。
- 住まいづくりに係わる全ての事業活動の資源・エネルギー使用などの環境負荷の低減を図ります。
(建材・設備の調達～住宅部材製造～建設～メンテナンス・リフォーム～解体)
- 環境関連法規制および同意したその他の要求事項を順守します。
- 環境方針を達成するために、環境目的・目標を設定し実施するとともに見直しを行います。
- 環境に係わる活動の継続的改善と汚染の予防に努めます。
- 全社員が環境活動に取り組めるよう、この方針を周知し、教育および啓発活動に努めます。

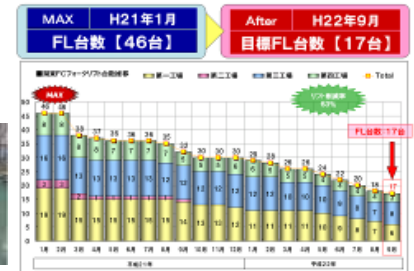
2011年4月1日改定
社長 藤井 康熙
環境担当理事 中村 裕

環境負荷削減の取り組み事例

フォークリフト減車によるCO2排出量削減 88t-CO2/年

住生活産業 1の「新・環境価値創造企業」を目指し、『Nextセル生産革新』活動の推進による最速・最安モノづくり体制の構築と地区全体の再編を図ることで、ムダ取り活動と作業の標準化を進めました。その結果、フォークリフトに依存した搬送を打破し、製品搬出を効率化することで2010年度は23台のフォークリフトを削減しました。

1. 製品引取作業 リフト 牽引車 に変更
2. 材料運搬方法変更
3. 材料運搬の効率化
4. 納入時間指定による集中納品回避など
5. 作業結合・編成見直しによるリフト削減



歩留り改善による産業廃棄物(木屑)発生量の削減

住宅部材の生産に欠かせない木材製品の加工において、木材歩留り2%改善活動を展開し、木屑および木粉の産業廃棄物発生量を年間101t削減しました。具体的には、原板サイズの変更および不良材料の活性化、りん木への転用等を進めてきました。

また、木粉は圧縮機でコルク状にした後に工場周辺の牧場で近江牛の敷き藁として活用され、近隣の農家で肥料としてリサイクルされています。



環境コミュニケーション事例

パナホーム本社工場「共存の森」事業展開 (2011年7月15日オープンセレモニー開催)

一昨年、本社工場創業40周年記念行事として、従業員一人ひとりの環境意識の向上を目的に、第3工場正面にあった噴水池跡を埋立てて花壇にし、『マツバギク』の記念植樹会を実施しました。花壇には毎年野生のひばりが卵を産み、雛がかえる様子が確認されています。

この花壇を中心に、ハナミズキ、ケヤキ、ヤマボウシ等487本の樹木を植樹し、「共存の森」活動を展開することになりました。「共存の森」活動とは「地球環境との共存」ということでパナソニックグループとして森林保全活動に寄与する事業の一環です。自然とふれあいながら「共存の森」を大きく育てることで森の樹木がCO2を吸収し、地球環境の負荷軽減につながることを願っています。

私たちは全員参加で「共存の森」を育てていきます。



びわ湖クリーンキャンペーンへの参加

琵琶湖の水は昔から近畿圏の暮らしを支え、現在では滋賀県はもとより、京都府・大阪府・兵庫県など京阪神1400万人の住民の生活を支えています。

私たちは、びわ湖(Mother Lake)の存在を常に意識し、地域に根ざした環境活動に取り組んでいます。9月5日(日)には、本社工場従業員25名が琵琶湖岸や歩道を清掃する「びわ湖クリーンキャンペーン」に参加し、東近江市役所周辺の歩道の清掃活動を行いました。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

緊急時の対応

環境リスクを未然に防止するだけでなく、天災などにより万が一事故にあった場合でも被害を最小限に抑えるために年1回以上、計画的に緊急事態対応訓練を行っています。

水質汚濁防止への取り組み

大切な水源となる琵琶湖を有する県に位置する本社工場では4時間モニタリングシステムを設置し、常時水質の管理を行い、万一の場合でも緊急遮断弁の閉鎖により汚水の外部流出を防ぐことができます。



緊急事態対応訓練

工場内での化学物質等漏洩に備えての訓練はもとより、敷地内で起こった事故に対しても迅速な対応ができるよう、協力会社様も含めて 合同で手順・備品等の確認を行っています。



調整池水門自動開閉装置

最終放流口に続く調整池水門に自動開閉装置を導入し、24時間監視をしています。